



SANJO ROTARY CLUB

三条ロータリークラブ

週報 No. 2

2022.7.13(No.3125)

再生・新生・共生

第2560地区ガバナー／高橋 秀樹
 会 長／西山 徳芳
 会長エレクト／吉井 直樹 (クラブ奉仕A)
 副 会 長／野崎喜一郎
 幹 事／梨 本 次 郎
 S A A／石黒 良 行
 会 計／五十嵐博宣
 直 前 会 長／歸 山 肇
 会長ノミニ／渡 辺 良 一 (クラブ奉仕B)

例会日／毎週水曜日 12:30～
 例会場及び事務局／
 三条市旭町2-5-10 三条信用金庫本店内
 例会場／TEL 34-3311
 事務局／TEL 35-3477 FAX 32-7095
 E-mail: sanjo-rc@cpost.plala.or.jp
 http://www.soho-net.ne.jp/~rotary/
 (~はshiftを押しながら“へ”のキーを
 押してください)

■本日の出席会員数:57名中38名
 ■先々週出席率:84.21%

【ゲスト】

・三条商工会議所 主幹 木村文夫 様

【ヴァジター】

・東北電力(株)新潟県央営業所 所長
 佐藤 均 様
 ・米山記念奨学生 李 恒 さん

【先週のメイクアップ】

[7.9] 高尾年度感謝の集い(新潟)へ
 ・野崎喜一郎さん



2022～2023 年度国際ロータリーのテーマ



会長挨拶

西山徳芳 会長



先日は、元首相の安倍晋三さんが銃撃され亡くなるという大変悲しい事件がありました。心を痛めておられる方も多くいらっしゃると思います。故人を近い人の出来事のように、忘れることなく胸に刻むことで記憶の中で生き続けるのではないのでしょうか。

また、今日は18年前に7.13水害が発生した日でもあり、11年前の7月は7.29水害も発生しています。多くの方の尊い命が失われ、かけがえのない財産も流失したのは記憶に鮮明です。このような悲しい事件や災害が二度と起こらないよう願うばかりです。

今日は卓話に木村文夫様をお迎えしています。卓話よろしくをお願いします。

他に、米山記念奨学生の李恒さんと東北電力(株)新潟県央営業所 所長の佐藤 均様がいらしています。ごゆっくりお過ごしください。

ビールの話 3回目

今、お店で飲まれるときは瓶ビールが主で、家庭では缶ビールが多いです。

昔は、瓶ビールが主流でした。これは、ビールを充填するときに瓶の中を洗浄しなくても良いことから増えたのです

が、ある水不足の夏に缶ビールは洗浄がいらないのであつという間に缶ビールが増えました。自分でやってみると、まずサイズをそろえた瓶を集めるのに労力がいらいます。そして瓶の底に残っている残のカビを落とすのに大量の水と消毒薬剤がいらいます。工場では水を何回もリサイクルしますが、大変なエネルギーを必要とします。缶の時は必要ありません。自分でやってみて美味しいのは3か月過ぎてからです。一般に消費の3か月前に醸造します。今日いただくものは4月に作っています。自分ビールは3年の古酒はワインのような味わいです。

ところで、瓶は昔に比べると軽量タイプになっていますが、輸送が大変なので手軽な缶が喜ばれます。

自分でやってみると漂白剤を少量入れて一晩カビを浮かし、ジェット水流で洗浄し大量の水とエネルギーを浪費するより、お手軽のアルミ缶が安上がり、瓶はリターナブルですが欠点があります。せめて紙パックとかペットボトルになりませんか？空けるときどんな音がするのでしょうか？

ビールに限らず酒造りには良質で大量の水が必要となります。水不足の夏はおつまみの枝豆も美味しくありません。ビールと枝豆、今晚、晩酌にいかがでしょうか。

幹事報告



梨本次郎 幹事

◎高橋ガバナー事務所より

「2022-23年度 地区研修・協議会DVD送付のご案内」
DVDに収録されている動画はYouTubeでも観ることが出来ます。(今年度中はいつでも視聴可能)

【目次のアドレス】

<https://forms.gle/yBQZXfGQj5SqSxJz5>



◎三条市青少年指導委員会より

「JR三条駅 白ポスト設置の御礼」

ニコニコBOX

木村文夫様

本日はお招きいただきありがとうございます。

西山徳芳会長

ひまわりが咲き、子供のころの夏休みを思い起こさせます。

木村様、佐藤様、李くん、よくいらっしゃいました。

長谷川正実さん

先日の母の葬儀に際しまして、クラブをはじめ皆様から大変ご心配をいただきました。ありがとうございました。

松平隆行さん

ゴルフコンペ表彰式に参加できず申し訳ありませんでした。引き続き宜しくお願いします。

梨本次郎さん

もう18年も経ちますね。

木村様、本日の卓話宜しくお願い致します。

荻根澤隆雄さん

7.13水害、18年前の災害復旧時に当時の三条工業会理事長でありました斎藤弘文さんが被災地に出向き、被災された事業所を隈なく見舞いに廻られた事に感動致しました。

歸山 肇さん

木村文夫様、お久しぶりです。

本日は、卓話ありがとうございます。

菊池 渉さん

夕方、犬と散歩。シャワーをあびて、冷えたビール。単純なくり返しが、こんなに楽しいとは…？

渡辺良一さん

木村先輩、本日の卓話よろしく願い致します。

松平さん、同好会ゴルフコンペ、1人勝ち！おめでとうございます。

小越憲泰さん

木村さん、久しぶりです。今日は卓話楽しみです。

吉井直樹さん

暑いですが、上手に節電して、過ごしています。

本日、木村様宜しくお願いします。

野水靖之さん

木村さん、お久しぶりです。本日の卓話、宜しくお願い致します。

重山直明さん

本日、2回目の参加となります。宜しくお願い致します。

衛藤泰男さん

本日もよろしく願いします。

木村文夫様、卓話ありがとうございます。

柳取崇之さん、 長谷川徹さん、 松永隆夫さん
よいことがありました。スマイルボックスに協力
いたします。

嘉瀬一洋さん、 明田川賢一さん、 小林卓哉さん、
斎藤弘文さん、 石橋育於さん、 丸山行彦さん、
安達俊明さん、 落合孝夫さん、 関川 博さん、
中村和彦さん、 石黒良行さん、 金子俊郎さん、
船越良則さん、 石倉政雄さん、 杉山幸英さん、
小出子恵出さん、 五十嵐博宣さん

木村文夫様を心より歓迎申し上げます。
本日は卓話ありがとうございます。お話楽しみに
しております。

7月13日分 ￥ 46,000
今年度累計 ￥ 98,000

ロータリー米山記念奨学会より
中村和彦会員へ
「第2回 米山功労者マルチプル感謝状」の授与



東北電力(株)新潟県中央営業所 所長の佐藤均様より
「節電のお願い」



米山記念奨学生 李さんへ奨学金の授与

「卓話」

「記憶の中のロータリー」



三条商工会議所 主幹 木村文夫 様

皆さんこんにちは、2019年まで、三条ロータリークラブに在籍していた木村です。

2019年10月末で、商工会議所の一線から退き、その後独立行政法人国際協力機構 通称JICAが公募した中小企業・SDGs ビジネス支援事業～普及・実証・ビジネス化(中小企業支援型)事業において、地元企業グループが提案した事業が採択されたことから、この事業の外部人材として商工会議所に籍を置かせてもらい、この事業のカウンターパート、ベトナム国バリア・ブンタウ省の産業政策立案のサポート役として事業活動に加わっております。

出だしは2019年11月、2020年1月と順調に渡航をすることができ、それなりに忙しくしておりましたが、その後新型コロナウイルス感染が世界中に広まり、海外どころか市外に出るのも、人と接触するのも制限され、三蜜回避、外出禁止、マスク、黙食等、上意下達(じょういかたつ)で何もできない状況となりました。

最初の1年は、すぐに新型コロナ感染も収束し、すぐ渡航も再開できるものと思っていましたが、緊急事態宣言が出されてからは、渡航どころか、県外出張も難しくなり、人と会話する機会もなくなり、できることは、オンラインでカウンターパートとミーティングでつなぐ程度となりました。

私の仕事は国際貢献を通して、地域企業の経済活動にも貢献することが使命として課せられているので、限られたデスクワークでは、何も達成することはできず、この2年間は自分指針の存在価値に自問自答する毎日で心身ともに疲弊し、昨年1年間は、コロナ禍の中で、体調を崩し、短期入院や検査などに追われてしまいました。

幸いに大事に至らず、何とか2022年を迎えることができ、コロナ感染の重症化リスクも低減して、日本も渡航、海外からの受け入れも緩和され、ようやく来月7月24日からベトナムへ行く事が決まりました。

後は2年間のブランクと気力・体力が復活するかというのが、現在の課題です。

少し長くなりましたが、これが私の近況です。

さて、今日はロータリーに入っていた時、心身ともに救っていただいたことを皆様に報告し、感謝するためにお話の機会を作っていただきました。

私には、2人の娘がおりまして、県内の専門学校、大学を卒業すると2人とも県外に就職しました。

その長女に起こったことが、今日の話です。

長女は長岡日赤看護専門学校を卒業すると県外の病院を志望し、2008年に横浜日赤病院に就職し、8年近くで民間へ転職しました。

転職した2017年末に帰省して来た時、風邪がなかなか治らず、咳も止まらないと言っていました、一緒に帰省していた次女と共に、初詣に行ったり、お酒も飲んでいたので、その時は気に留めなかったと思います。

正月も終わり、我が家はまた妻と二人きりの生活に戻り、2018年1月8日日曜日午後だったと思います。

最初は携帯電話がなったのですが、つながらず、続いて家の固定電話が鳴り、ようやくつながり、長女からの電話でした。

聞こえないくらいのかすれ声で、具合が悪いので、今診療を受けている大学病院に来て欲しいと言われ、妻に電話を替わり、病院を確認してすぐに、新幹線に飛び乗りました。

到着したのは、午後4時過ぎで、お茶の水駅近くの大学病院の休日診療外来でした。

しばらく待たされた後、先生がやってきて、症状と検査結果について説明してくれました。

検査した項目での異常はなく、今嘔下しづらいついという症状はあるものの、女性に見られる精神的な症状だと言われました。

こちらからは、大動脈剥離ではないかとか、いろいろ病気の名前を出して質問して、今日は入院させて欲しいと言ったのですが、今日は帰ってもらい、総合心療内科を受診したらどうかなどと言われ、結局横浜駅の近くの娘のマンションへ連れて帰ることになりましたが、娘は歩くこともままならず、電車には乗れず、タクシーで連れて帰りました。

心配でしたが、医師に帰ってもいいと言われたので、大したことがないのかと、その時は安心して、妻を残して帰ることにしました。

まさかそんなことはないだろうと思いながら「何かあったら救急車を呼んだ方がいい」と言って最終新幹線に乗りました。

ところが、新幹線に乗っている最中に妻から電話があり、救急車を呼んで病院へ来ていると連絡が入りました。

でも、もう最終新幹線なので、引き返すことはできません。

明日、朝一番で緊急入院先病院に行くことにして、次女に連絡をしたり、夜遅かったけど職場の人に連絡をしながら、このまま死んだらどうしようと心配しながら、一睡もできず、翌日の朝一番の新幹線に乗って横浜の港みらいにある病院へ行き、担当医の先生から説明を受けました。

昨日は呼吸困難な状況で運ばれてきて、血液酸素濃度は75で、肺の中は出血も見られたので、人工呼吸器をつけて、点滴処方しました。

検査をしないとはっきり言えないが、もう全身硬直しており、「ギランバレー症候群」の疑いがあるので、近畿大学に検査依頼をしています。しばらくはICUで治療します。」でも、現在は命にかかわる状況ではないので、今日は安心して寝てくださいと言われました。

ひとまずホッとしましたが、インターネットで「ギランバレー症候群」を片っ端から検索して、難病ではあるものの、治癒すれば、普通の生活に戻れる事が分かり、希望の光が見えてきたことを覚えています。

それから、娘の職場に連絡したり、入院の手続き、入院給付保険の手続き等、気の休まる日がありませんでした。

病院は付き添いがいらないのですが、洗濯、医師の指示への対応等、当分は誰か長女のマンションから通う必要があることから、主に妻が付き添い、私は週末にからめてお休みをもらい、月2～3回程度、次女も週末月1回程度、交代して付き添うことになりました。

結果的には、病名は「ギランバレー諸侯群」と診断され、ICUに2か月近く入院し、その後一般病棟に移され、徐々に手足が動くようになり、5月に入ると、人工呼吸器も外されて、徐々に歩行練習もできるようになってきました。

そうすると、いよいよ、リハビリできる病院へ転院しなければならないことになる訳ですが、担当医師からは、東京なら紹介できるが、新潟は知らないで、どうしますかという話が出てきました。

娘の意思は新潟に帰るということを確認して、それでは転院先はどうしますか、私も探してみるけれど、ロータリーに入っているなら紹介してもらったらどうですかと言われました。

私も転院になった場合、どういう手続きで新潟の病院へ転院できるのかは、前から心配していたので、新潟、長岡の病院は調べていたのですが、急性期病院から急性期病院へは転院できないということ、その時初めて知りました。

そこで、三条ロータリーのメンバーであった川瀬先生に、5月の早い例会だったと思いますが、終わった後に、娘のギランバレー症候群の経過とリハビリ病院への転院で困っていると相談させていただきました。

川瀬先生は、すぐに新潟緑病院の院長に聞いて下さるということになりました。

一旦、例会が終了し、仕事に戻ってから川瀬先生

から電話をいただき、緑病院に受け入れてもらえるとお話をさせていただきました。

本当にありがたく、心身ともに疲弊していたのが、嘘のように楽になりました。

すぐに横浜の担当医師に連絡をして、話をするとずいぶん早く決まりましたねと驚いていました。

私は担当医師の投げかけに、気持ちももやもやしていましたので、それに対して、留飲が下がる思いで、本当にすっきりし、ロータリーの力は本当にすごいと、しみじみ感じました。

恐らく、私が三条ロータリーのメンバーに入っていなければ、川瀬先生にお話しできる機会はなかったと思います。

その時なぜか以前、例会で小千谷の佐々木パストガバナーの卓話を思い出しました。

うろ覚えですが、調剤薬局で変な人に関わって困っていた時、知り合いのロータリアンに相談していたら、知らないうちに解決できた。という話だったと思います。

事情は違うのですが、困った時にロータリアンに相談することで、問題が解決されたという事実は同じだと思いました。

そして5月29日に横浜の病院を退院し、新幹線で新潟の緑病院へ無事入院しました。

1月8日に救急車で搬送され、5月29日の退院迄実に111日間入院していたことになります。

緑病院では、リハビリに専念し、7月27日までの60日間お世話になり、退院いたしました。

この間、川瀬先生にお礼のご挨拶に伺おうと連絡させていただいたのですが、川瀬先生は病氣療養中となり、奥様に事情をお話ししてお礼を申し上げました。

その後は自宅療養となり、しばらくは燕労災病院でリハビリを続けることになり、翌年の4月に職場復帰していきました。

やはり、インターネットに載っていたギランバレー症候群の闘病記にあったように職場復帰には1年以上かかる病気だなどと思いました。

長女は一昨年結婚いたしました、今年の4月5日に長女を授かりました。

あの時、三条ロータリーに籍を置かせていただき、川瀬先生に相談させていただいたことが、今日の長女の日常を取り戻せたことだと感謝いたしております。

2018年11月にはロータリーの地区大会が開催され、その幹事クラブが三条ロータリークラブでした。私も実行委員会のメンバーとして、任務をいただきましたので、三条ロータリークラブへの感謝の気持ちを示す行動になると、精一杯汗を流させていた

こうと思いました。

その中では、記念講演をお願いした水野正人さんの交渉役の大役を仰せつかりました。

水野さんはミズノ(株)の相談役で東京オリンピック・パラリンピック招致委員会CEOでありました。

幸いに、東京ロータリークラブを通じて、話を通していただいておりますので、少しは気が楽だったのですが、具体的に交渉するのは、気が重かったのですが、地区大会実行委員会の幹事クラブの肩書きがあるので、初めて丸の内にある東京ロータリークラブを訪問させていただきました。

とても緊張していたのを覚えているのですが、事務局の方からは、大変丁寧に対応いただき、水野さんの秘書の方を紹介いただき、連絡を取らせていただくことになりました。

秘書の方は会長室の折田さんという方で、最初に電話をさせていただいた時から、とても丁寧で優しさ溢れる対応をしていただき、本当にホッとて、感動したことを覚えています。

やはりロータリーのネットワークのすごさを感じました。

その後は、折田さんの所に連絡させてもらうのが、楽しみになり、地区大会当日を迎え水野さんに直接お会いした時には、折田がお世話になりましたとお礼のご挨拶もいただきました。

記念講演も本当にすばらしく、その仕草、立ち振る舞いにも感動いたしました。

振り返ると、私がロータリーに入会したきっかけは、勧誘をいただき、前任者が入会していたから、考えもなく入会いたしました。

入会した当初は、毎週例会、親睦会と集まりの多いことに驚きました。

今までお付き合いしたことが無い人も多く、いろいろなお話しを聞く機会は、それなりに興味があり楽しくもありましたが、皆さん本当に良くやるなと思っていました。

しかし、自分が困難な問題に直面した時、大きな役割を担った時、初めてロータリーのすごさが分かりました。

「井の中の蛙大海を知らず」と言います。

この年になっても、知らない世界、すごい人が多く存在するということを改めて痛感したと思います。

これまで、ロータリーの皆さんには、教えていただいたり、助けていただくことばかりで、お役に立てる事が少なかったなと思います。

今後は、与えられた環境の中で、少しでも社会のために貢献できる活動をしていきたいと考えています。

この度は、このような機会を与えていただきました三条ロータリークラブの皆様にご感謝を申し上げます。

ありがとうございました。



次週例会 7月27日

夜例会「納涼例会」

18:30～ 於 越前屋ホテル

次々週例会 8月3日

「会員卓話」 菊池 渉 会員

